

令和2年度 社会科 3年歴史 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

< 2 > 歴史的分野の目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え、国民としての自覚をもとうとする。
社会的な思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に判断し表現している。
資料活用 of 技能	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりできる。
社会的事象についての 知識・理解	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。
- ②自主的・自発的な学習の促進。→体験的な学習や問題解決的な学習。 発展的な学習
- ③学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習。
- ④個に応じた指導の充実。→ 個別指導 グループ別指導 繰り返し指導
生徒の興味・関心に応じた課題学習 コンピュータを活用した学習 補充的な学習

社会科 3 学年 歴史的分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
3 年 6	第7章 二度の世界大戦と日本 1 節 第一次世界大戦と民族独立の動き (8 時間)	1 編 第一次世界大戦と民族独立の動き 1 クリスマスまでには帰れるさ ・ヨーロッパの火薬庫 ・第一次世界大戦の始まり ・新兵器と総力戦 2 パンと平和を求めて ・ロシア革命 ・社会主義と講和原則 ・アメリカの参戦 ・干渉戦争とソ連の成立 3 成金の出現 ・日本の参戦と二十一か条の要求 ・シベリア出兵 ・対戦景気 4 不戦の誓い ・第一次世界大戦の終結 ・国際連盟の設立 ・軍縮と国際協調 ・民主主義の拡大 5 湧き上がる独立の声 ・朝鮮の三・一独立運動 ・中国の五・四運動 ・インドの民族運動	●		●	●	第一次世界大戦の始まりについて理解している。(知識・理解) 新兵器の登場が戦争の仕方を変えたことを資料から読み取ることができる ロシアがロシア革命を経て社会主義の国になったことを資料や本文から理解している。(技能、知識理解)
	2 節 大正デモクラシー (4 時間)	○大正デモクラシー ・護憲運動 ・民本主義 ・米騒動 ・政党政治の確立 ◇大正期の教育と文化について理解する。		●	●	●	第一次世界大戦に日本が参戦した理由とその影響を資料やグラフから読み取っている(思考判断) 第一次世界大戦後の世界がどのようなようになっていくか資料やグラフから考えることができる。(技能、関心意欲) 軍縮と国際協調の考えが世界の中心になっていくことを理解している。 (技能、知識理解) 第一次世界大戦ののちのアジアのようすを資料から読み取り、アジアの人々がどのような運動を起こした知ることができる。 大正時代に政党政治が発達したことをその背景の動きとともに理解することができる。 シベリア出兵と米騒動の関係が理解できる。

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				・評価規準 (評価の方法)
			関	思	資	知	
7	3 節 恐慌から戦争へ (5 時間)	◇世界恐慌の概要と、欧米諸国の対応について理解する。 ☆資本主義経済のしくみについて、具体的な資料をもとに話し合う。〈言〉 ◇日本の政治や国際関係の流れを、世界の動きと関連させながら理解する。 ○なぜ、日本やドイツは再び軍事力を増やしていったのか。 ○どのようにして政党政治が終わり、軍部が力を持ってきたのか。 ◇国民の困窮や軍部の主張などについて具体的にふれ、当時の日本の状況を考える。 ○日中戦争はどのような戦争だったのか。 ◇日本の中国侵略の実態とそれに対する中国民衆の動きを理解する。 ◇戦争がヨーロッパで起こり、拡大していった経緯を理解する。 ○第二次世界大戦はどのような原因で始まり、どのように展開したのか。 ◇ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本が選んだ行動について、国際的な視野で考える。 ☆日本の取った南進政策について考え、話し合う。〈言〉 ○どのようにして日本の戦争は拡大していったのだろうか ◇戦争の長期化とともに国民生活が破綻していく実態を理解する。 ☆当時の体験談を聞く機会を設定し、戦争の持つ意味を問い直す。〈体〉 ◇ドイツ・イタリアの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結の経緯を理解する。 ○近代はどのように変わっていったのだろうか ☆グループごとにテーマを設定し、近代の学習内容を整理する。〈G〉〈振〉 ☆近代の流れの特色を考えて考察し、発表する。〈問〉〈言〉	●	●		●	・世界恐慌の概要と欧米諸国の対応を各国別に理解している。(知)(テスト) ・資本主義経済のしくみを、現代と比較して考え、自分の意見を述べている。(思)(授業観察・ノート) ・満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解している。(知)(テスト) ・軍部の主張や国民の生活を具体的に調べ、当時の状況から、日本の取るべき進路について考え、自分の意見を述べている。(思)(ノート) ・当時の日本の状況と、中国の民衆の立場を理解し、公正に判断しようとする態度を身に付けている。(関)(授業観察) ・ヨーロッパで起こった戦争の原因・経過を理解している。(知) ・戦争に対して資源や国力の差について、具体的な資料をもとに考える。(資)(ノート) ・太平洋戦争勃発のきっかけやその後の経過について、概要を理解している。(知)(テスト) ・当時の体験談を積極的に聞く態度が身に付いている。(関)(授業観察) ・イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。(知)(テスト)
	4 節 第二次世界大戦と日本の敗戦 (6 時間)	◇戦争がヨーロッパで起こり、拡大していった経緯を理解する。 ○第二次世界大戦はどのような原因で始まり、どのように展開したのか。 ◇ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本が選んだ行動について、国際的な視野で考える。 ☆日本の取った南進政策について考え、話し合う。〈言〉 ○どのようにして日本の戦争は拡大していったのだろうか ◇戦争の長期化とともに国民生活が破綻していく実態を理解する。 ☆当時の体験談を聞く機会を設定し、戦争の持つ意味を問い直す。〈体〉 ◇ドイツ・イタリアの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結の経緯を理解する。 ○近代はどのように変わっていったのだろうか ☆グループごとにテーマを設定し、近代の学習内容を整理する。〈G〉〈振〉 ☆近代の流れの特色を考えて考察し、発表する。〈問〉〈言〉	●	●	●	●	・戦争に対して資源や国力の差について、具体的な資料をもとに考える。(資)(ノート) ・太平洋戦争勃発のきっかけやその後の経過について、概要を理解している。(知)(テスト) ・当時の体験談を積極的に聞く態度が身に付いている。(関)(授業観察) ・イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。(知)(テスト)
	近代の社会 (2 時間)	○近代はどのように変わっていったのだろうか ☆グループごとにテーマを設定し、近代の学習内容を整理する。〈G〉〈振〉 ☆近代の流れの特色を考えて考察し、発表する。〈問〉〈言〉	●			●	・グループで積極的に独自のテーマを考えている。(関)(授業観察) ・時代の流れの特色を考え、表現している。(思)(ノート)

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				・評価規準 (評価の方法)
			関	思	資	知	
8	第8章 現代の日本 と世界	◇第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。 ◇高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。 ◇国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだかせ、さらに社会の一員としての自覚を深めさせる。					
	1 節 日本の民主 化と冷戦 (5 時間)	○戦後の諸改革によって日本はどう変わったか。 ◇GHQによる民主化政策と日本国憲法の制定について理解する。 ◇戦前との比較によって、具体的な改革の内容に関心を持つ。 ◇国際連合の誕生と東西冷戦について理解する。 ○冷戦は世界と日本にどんな影響を与えたか。 ◇中国、朝鮮を中心に、戦後のアジアの動きを世界の動きを背景に理解する。 ◇占領政策の転換を、東アジアの動きと関連付けながら理解する。 ☆サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について、当時の世論を意識しながら話し合う。〈言〉〈PC〉 ◇世界の緊張緩和の動きを理解する。 ☆日本の外交を、沖縄の復帰を中心に話し合う。〈言〉	●			● ● ●	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の民主化政策と日本国憲法の制定について概要を理解し、その知識を身に付けている。(知)(テスト) 憲法や民法の比較を通して戦前からの変化について考え、自分の意見を述べている。(思) (ノート・授業観察) 国際連合の誕生、東西冷戦の概要について理解し、その知識を身に付けている。(知)(テスト) 戦後のアジアの動きに関心を持ち、アジアの中の日本という視点を持っている。(関)(授業観察) サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について、当時の国民の考えを調べたりするなど、関心を持っている。(関)(ノート) 沖縄の人々の感情などに関心を持ち、その苦労について調べてみようとしている。(関)(授業観察) 高度経済成長が国民の生活に大きな変化をもたらしたことを理解している。(知)(テスト) 「日本の国民総生産と経済成長率の変化」のグラフから、有用な情報を適切に選択して、読み取っている。(資)(ノート)
9	2 節 世界の多極 化と日本 (4 時間)	◇日本経済が高度成長を遂げ、国民生活が変化したことを理解する。 ◇経済発展のかげで、社会に様々なひずみが生まれたことに気付く。	●		●	●	

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				・評価規準 (評価の方法)
			関	思	資	知	
	3 節 冷戦の終結 とこれから の日本 (3 時間)	<p>○冷戦はどのように終結し、日本はその後の世界の中でどのような役割を果たしているか。</p> <p>◇冷戦終結と、その後の国際協調の動きについて理解する。</p> <p>◇冷戦終結後に起こった地域紛争について理解する。</p> <p>◇近年の日本の政治の流れを、経済と関連付けて、理解する。</p> <p>◇国際社会における日本の立場について、近年の動きを通して関心を持つ。</p> <p>◇平和で公正な社会をつくるため、差別や偏見をなくすことが課題であることを理解する。</p> <p>☆国際社会の中での日本の果たすべき役割について話し合う。〈言〉</p>	●	●		●	<p>・冷戦終結後から現在に至るまでの国内外の動きを理解している。(知)(テスト)</p> <p>・日本の PKO などの活動について、多面的・多角的に考察し、自分の意見を述べている。(思)(授業観察)</p> <p>・日本の政治の流れの概要を理解している。(知)(テスト)</p> <p>・国際社会の動きと、その中の日本の動きを、年表などにまとめている。(資)(ノート)</p> <p>・現代社会の差別や偏見をなくすための方法や、自分たちの役割を考えている。(思)(ノート・授業観察)</p> <p>・国際社会における日本の果たすべき役割について関心を持ち、進んで意見を述べる態度を身に付けている。(関)(授業観察)</p> <p>・根拠を示して資料を選択し、現代の日本と世界の特色をわかりやすく表現している。(関・思・資)(授業観察・新聞)</p>